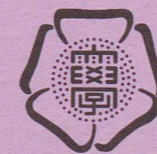
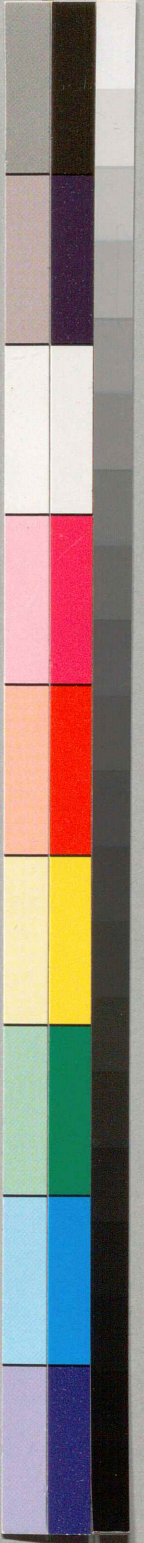


教育職員免許法に関する  
説明及び科目認定一覧表

平成22年度生用



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University





# 目次

## I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科

本学では、別表のとおり全ての学部で教員免許が取得できるようになっており、それぞれの学科で学んだ専門科目を履修し修得することによって取得することができます。ですから、教員免許取得を希望する学生は、必ず所属学科の必修を履修してください。グローバル文化学部には、教育学の学科の免許を取得することができます。

ただし、人間社会科学科所属学生は、学科の専門科目が教職に関するものであるため、他学科の免許

I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科	1
1. 一種免許状	1
2. 専修免許状(参考)	2
II. 免許状取得の方法	3
1. 基礎資格および最低修得単位数	3
2. 教科・教職以外の科目	4
3. 教職に関する科目(中学校・高等学校)	5
4. 教科に関する科目(中学校・高等学校)	7
5. 教職に関する科目(幼稚園・小学校)	24
6. 教科に関する科目(幼稚園・小学校)	26
7. 教科又は教職に関する科目	26
III. 介護等体験	27
IV. 教員免許状の授与	28
1. 大学一括申請	28
2. 個人申請	28
V. 人間社会科学科所属学生の特例	29
VI. 教職課程履修スケジュール	30
VII. 栄養教諭一種免許状	31

(注)・生活科学系人間生活学科では文教育学部の中・小学校、幼稚園コースの履修が可能です。  
・生活科学系食料栄養学科と人間・環境科学科では、人間生活学科栄養コースの履修が可能です。



## I. 本学で取得可能な免許状の種類・教科

本学では、別表のとおり全ての学部で教員免許状が取得できるようになっており、それぞれの学科で学んだ専門科目を最も生かすことの出来る免許状を取得できるようになっています。ですから、教員免許取得を希望する学生は、必ず所属学科の免許を取得してください。(グローバル文化学環に所属する学生は、副専攻の学科の免許を取得することができます。)

ただし、人間社会科学科所属学生だけは、学科の専門科目が教職に関するものであるため、他学科の免許状を取得することが出来ません。(V. 人間社会科学科所属学生の特例を参照してください。)

また、平成21年4月の教育職員免許法の改訂により、二種免許の履修はいかなる形でも認められません。

### 1. 一種免許状

学部	学 科	免許状の種類及び教科			
		中学校一種	高等学校一種	その他の免許状の種類	
文 教 育 学 部	人 文 科 学 科	社 会	地理歴史・公民		
	言 語 文 化 学 科 日本語・日本文学履修コース	国 語	国 語		
	中国語圏言語文化履修コース	中 国 語	中 国 語		
	英語圏言語文化履修コース	英 語	英 語		
育 学 部	人 間 社 会 科 学 科 社 会 コ ー ス	社 会	公 民		
	小 学 校 ・ 幼 稚 園 コ ー ス			幼 稚 園 一 種	小 学 校 一 種
	芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科 舞 踊 教 育 学 履 修 コ ー ス	保 健 体 育	保 健 体 育		
	音 楽 表 現 履 修 コ ー ス	音 楽	音 楽		
理 学 部	数 学 科	数 学	数 学		
	物 理 学 科	理 科	理 科		
	化 学 科	理 科	理 科		
	生 物 学 科	理 科	理 科		
	情 報 科 学 科 数 学 コ ー ス	数 学	数 学		
	情 報 コ ー ス		情 報		
生 活 科 学 部	人 間 生 活 学 科 家 庭 コ ー ス	家 庭	家 庭		
	食 物 栄 養 学 科			栄 養 教 諭 一 種	

(注)・生活科学部人間生活学科では文教育学部の小学校・幼稚園コースの履修が可能です。

・生活科学部食物栄養学科と人間・環境科学科では、人間生活学科家庭コースの履修が可能です。



2. 専修免許状（参考）

本学大学院では別表のとおり、専修免許状が取得できます。大学院で専修免許状の取得を希望する学生は、学部卒業時に一種免許状を取得しておく必要があります。

研究科	専攻	免許状の種類及び教科		
		中学校専修	高等学校専修	その他の免許状の種類
人間文化創成科学研究科	比較社会文化学専攻			
	国語コース	国語	国語	
	中国語コース	中国語	中国語	
	英語コース	英語	英語	
	社会コース	社会	公民	
			地理歴史	
	保健体育コース	保健体育	保健体育	
	音楽コース	音楽	音楽	
	家庭コース	家庭	家庭	
	人間発達科学専攻	教育職員免許法第4条第5項第1号に掲げる全ての教科（外国語は英語、中国語、フランス語に限る）	教育職員免許法第4条第5項第2号に掲げる全ての教科（外国語は英語、中国語、フランス語に限る）	幼稚園専修
博士前期課程	ジェンダー社会科学専攻			
	社会コース	社会	地理歴史 公民	
	家庭コース	家庭	家庭	
博士前期課程	ライフサイエンス専攻			
	家庭コース	家庭	家庭	
	理科コース	理科	理科	
	理学専攻			
	理科コース	理科	理科	
	数学コース	数学	数学	
	情報コース		情報	

II. 免許状取得の方法

1. 基礎資格および最低修得単位数

教員免許状の取得には、卒業・修了に必要な単位を修得して基礎資格を得る他に、別表のとおり関係法令が定める教職に関する科目等の修得が必要です。

また、小学校・中学校の教員免許状取得には、介護等体験が必要となります。

教育職員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数			介護等体験	
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目		
教中 学 論 校	専修	修士の学位を有すること。	20単位	31単位	32単位	*
	一種	学士の学位を有すること。	20単位	31単位	8単位	必要
校高 教等 論学	専修	修士の学位を有すること。	20単位	23単位	40単位	
	一種	学士の学位を有すること。	20単位	23単位	16単位	
教小 学 論 校	専修	修士の学位を有すること。	8単位	41単位	34単位	*
	一種	学士の学位を有すること。	8単位	41単位	10単位	必要
教幼 稚 園 論	専修	修士の学位を有すること。	6単位	35単位	34単位	
	一種	学士の学位を有すること。	6単位	35単位	10単位	

注) ① 「修士の学位を有すること」には、大学の専攻科又は文部科学大臣の指定するこれに相当する課程に一年以上在学し、30単位以上修得した場合を含むものとする。

② 介護等体験の「\*」は、既に小学校又は中学校の免許状を取得している者（取得要件を満たしている者を含む。）は不要。（「III. 介護等体験」を参照）

○ 各表を見るにあたっては、次のことに注意すること。

※（中）は中学校、（高）は高等学校、（小）は小学校、（幼）は幼稚園の免許状取得に必要な科目の単位である。

※「 」内の二つ以上の科目は、その内の科目一つ以上を履修する必要がある。

※（……を含む）とある科目は、必ずその科目を履修する必要がある。

※……及び……とある科目は、その両方の科目を履修する必要がある。



2. 教科・教職以外の科目

教員免許状の取得には、前表に定める教職関係の科目以外に、日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作（各々2単位ずつ）の単位修得が必要です。これらに該当する科目は以下のとおりですので、免許状取得希望者は忘れずに履修してください。

・日本国憲法（2単位）【コア科目・基礎講義】			
〔全学部〕	「法学Ⅰ（日本国憲法）」	2単位	必修
・体育（2単位）【コア科目・スポーツ健康概論】			
〔文教育学部〕	「スポーツ健康実習」	2単位	必修
〔理学部〕	「スポーツ健康実習」	2単位	必修
〔生活科学部〕	「スポーツ健康実習」	2単位	必修
・外国語コミュニケーション（2単位）【コア科目・外国語】			
〔文教育学部〕	「中級英語Ⅰ・Ⅱ」	各2単位	選択
〔理学部・生活科学部〕	「中級英語」	2単位	
〔全学部〕	「ドイツ語初級（演習）Ⅰ・Ⅱ」	各2単位	
	「フランス語初級（演習）Ⅰ・Ⅱ」	各2単位	
・情報機器の操作（2単位）【コア科目・情報】			
〔全学部〕	「情報処理学」	2単位	選択
	「情報処理演習」	2単位	必修

但し、留学生特別科目の単位振替による充足は認められない。

3. 教職に関する科目（中学校・高等学校）

教職に関する科目	左記各科目に含めることが必要な事項	免許状の種類及び認定科目・単位				
		中学校教諭		高等学校教諭		
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2 単 位	教職概論	2 単 位	教職概論	2
	教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）					
	進路選択に資する各種の機会の提供等					
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6 単 位	教育原論（思想・歴史）	2	教育原論（思想・歴史）	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		教育心理		教育心理	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育原論（制度・社会）		教育原論（制度・社会）	
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12 単 位	教育課程論	2	教育課程論	2
	各教科の指導法		*各教科教育法		*各教科教育法	
	道徳の指導法（中）		道徳教育の研究			
	特別活動の指導法		特別活動の研究		特別活動の研究	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論		教育方法論	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4 単 位	生徒指導の研究	2	生徒指導の研究	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		学校カウンセリング		学校カウンセリング	
	進路指導の理論及び方法					
教育実習	5 単 位	事前・事後指導教育実習	1 4	3 単 位	事前・事後指導教育実習	1 2
教職実践演習	2 単 位	教職実践演習（教諭）	2	2 単 位	教職実践演習（教諭）	2
合計		31 単 位		27 単 位		

- 注) 1. 当該単位は、教職概論、事前・事後指導及び教育実習、教職実践演習を除き、文教育学部と理学部は6単位まで、生活科学部は14単位まで、卒業所要単位（124単位、ただし食物栄養学科は138単位）に含めることができる。
2. 中学校教諭では、31単位を修得する他、教科又は教職に関する科目を8単位修得する必要がある。
3. 高等学校教諭では、27単位を修得する他、教科又は教職に関する科目を16単位修得する必要がある。また、「道徳教育の研究」を修得した場合は教科又は教職に関する科目の単位となる。



◎ 高等学校では、教育職員免許法では「教育課程及び指導法に関する科目」の必要単位数が6単位(合計23単位)となっているが、「各科目に含めることが必要な事項」を全て網羅する必要があるため、本学では10単位(合計27単位)修得する必要がある。

4. 教育実習(事前・事後指導を含む)は、実習希望教科の教科教育法を第3年次(一部第2年次の科目もあり)に修得していなければ、履修できない。
5. 各教科教育法(\*)の内訳は以下のとおりで、各教科毎に各々IとII(各2単位)の2科目4単位を修得すること。なお、高等学校の地理歴史は「社会科教育法I(地理歴史)」と「地理歴史科教育法」、公民は「社会科教育法II(公民)」と「公民科教育法」を、それぞれ修得すること。

教科	修得すべき科目(各2単位・計4単位)
社会	社会科教育法I(地理歴史), 社会科教育法II(公民)
地理歴史	社会科教育法I(地理歴史), 地理歴史科教育法
公民	社会科教育法II(公民), 公民科教育法
国語	国語科教育法I, 国語科教育法II
中国語	中国語科教育法I, 中国語科教育法II
英語	英語科教育法I, 英語科教育法II
保健体育	保健体育科教育法I, 保健体育科教育法II
音楽	音楽科教育法I, 音楽科教育法II
数学	数学科教育法I, 数学科教育法II
理科	理科教育法I, 理科教育法II
情報	情報科教育法I, 情報科教育法II
家庭	家庭科教育法I, 家庭科教育法II

\*社会科教育法I(地理歴史)のみ、2年次後期に開講する。

6. 教職実践演習は、卒業前に、取得予定の免許種の教員としての資質・能力を最終確認する目的で設置された授業である。よって、4年次後期に校種・免許種によってクラスが指定され、演習・実習形式で行われる。教職実践演習を履修し単位が与えられないと教員免許状の取得は出来ないため、掲示等の案内・指示に従い、履修には十分注意すること。

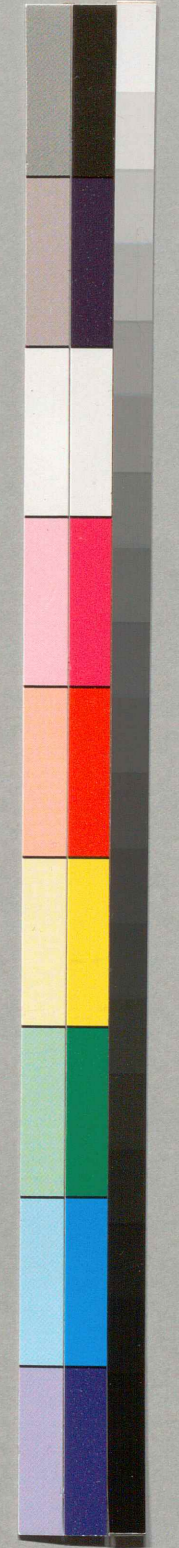
[MEMO]

(進学準備・進学) 目標を達成させる

進学準備文

進学準備文

学年	科目	単位数	履修条件	備考
1年次	国語	2		
1年次	英語	2		
1年次	数学	2		
1年次	理科	2		
1年次	社会	2		
1年次	公民	2		
1年次	音楽	2		
1年次	保健体育	2		
1年次	家庭	2		
1年次	情報	2		
2年次	国語	2		
2年次	英語	2		
2年次	数学	2		
2年次	理科	2		
2年次	社会	2		
2年次	公民	2		
2年次	音楽	2		
2年次	保健体育	2		
2年次	家庭	2		
2年次	情報	2		
3年次	国語	2		
3年次	英語	2		
3年次	数学	2		
3年次	理科	2		
3年次	社会	2		
3年次	公民	2		
3年次	音楽	2		
3年次	保健体育	2		
3年次	家庭	2		
3年次	情報	2		
4年次	国語	2		
4年次	英語	2		
4年次	数学	2		
4年次	理科	2		
4年次	社会	2		
4年次	公民	2		
4年次	音楽	2		
4年次	保健体育	2		
4年次	家庭	2		
4年次	情報	2		





4. 教科に関する科目 (中学校・高等学校)

◎ 文教育学部

免許状の種類	中学校教諭一種免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

人文科学科

科目区分		単位		本学認定授業科目及び単位				備考
免許教科	教科に関する科目							
社会(必修二〇単位以上・教科又は教職に関する科目八単位以上)	日本史及び外国史	以	上	◎日本史概説(2) ◎日本文化史概説(2) ◎東洋史概説(2) ◎西洋史概説(2)				
				日本古代中世特殊講義(2) 比較女性史(日本)(2) 東洋史諸言語 I(2) 西洋社会史演習 II(2) 西洋美術史 A II(2)				
				日本近世近代特殊講義(2) 比較家族史(日本)(2) 東洋史諸言語 II(2) 西洋政治史演習 I(2) 西洋美術史 A III(2)				
				日本古代中世政治史(2) 歴史人類学(日本)(2) 東洋政治史演習 II(2) 西洋社会経済史演習 I(2) 西洋美術史 B I(2)				
地理学(地誌を含む。)	以	上	◎都市と自然(2) ◎自然と人間(2) ◎地誌学(2)					
			地 図 学(2) 地理学特殊講義 I(2) 地理学特殊講義 II(2) 地理学特殊講義 III(2) 地理学特殊講義 IV(2)					
			歴史・文化地理学(2) 人文地理学分析基礎演習(4) 環境地理学基礎演習(4) 地域分析学演習 I(2) 人間と空間(2)					
			社会地理学(2) 地理情報学基礎演習(2) 環境地理学演習 I(2) 地域分析学演習 II(2) 社会地理学演習 I(2)					
「法学、政治学」	1以上	法学通論(4) 政治学通論(4) 左記の4科目のうちのいずれか1科目以上選択				学部共通科目		
		法学概論(2) 政治学概論(2)						
「社会学、経済学」	1以上	社会学通論(4) 経済学通論(4) 左記の4科目のうちのいずれか1科目以上選択				学部共通科目		
		社会学概論(2) 経済学概論(2)						
「哲学、倫理学、宗教学」	1以上	哲学概論 I(2) 哲学概論 II(2) 哲学通論 I(2) 哲学通論 II(2) 左記の8科目のうちのいずれか1科目以上選択						
		西洋哲学史 I(2) 問題分析論演習 III(2) 哲学演習 A I(2) 倫理学演習 B(4) 日本倫理思想史資料講義(4)						
		西洋哲学史 II(2) 理論分析論演習 I(2) 哲学演習 A II(2) 倫理思想史演習 B(4) 西洋倫理思想史研究(2)						
		西洋哲学史 III(2) 理論分析論演習 II(2) 哲学演習 A III(2) 倫理思想史演習 B(4) 日本倫理思想史研究(2)						

◎は教職必修科目

免許状の種類	高等学校教諭一種免許状	免許教科	地理歴史
--------	-------------	------	------

人文科学科

科目区分		単位		本学認定授業科目及び単位				備考
免許教科	教科に関する科目							
地理歴史(必修二〇単位以上・教科又は教職に関する科目十六単位以上)	日本史	以	上	◎日本史概説(2) ◎日本文化史概説(2)				
				日本古代中世特殊講義(2) 日本中世史料演習 I(2) 考古学通論 I(2) 歴史情報論演習(日本) II(2)				
				日本近世近代特殊講義(2) 日本中世史料演習 II(2) 考古学通論 II(2) 都市社会史演習(日本) I(2)				
				日本古代中世政治史(2) 日本近世史料演習 I(2) 歴史考古学(2) 都市社会史演習(日本) II(2)				
外国史	以	上	◎東洋史概説(2) ◎西洋史概説(2)					
			外国史入門講義 I(2) 西洋社会経済史 II(2) 西洋社会経済史料演習 II(2) 東洋美術史 A II(2)					
			外国史入門講義 II(2) 西洋社会史(2) 外国史論文講義 I(2) 東洋美術史 A III(2)					
			東洋政治社会史(2) 西洋中世史(2) 外国史論文講義 II(2) 東洋美術史 B I(2)					
人文地理学及び自然地理学	1以上	◎都市と自然(2) ◎自然と人間(2) ◎地 図 学(2)						
		自然地理学(2) 地理学フィールドワーク演習(2) 環境地理学演習 I(2) 歴史・文化地理学演習 I(2) 地理学英書講義(2)						
		歴史・文化地理学(2) 地理学フィールドワーク A(2) 環境地理学演習 II(2) 歴史・文化地理学演習 II(2) 地理学特殊講義 IV(2)						
		社会地理学(2) 地理学フィールドワーク B(2) 環境地理学演習 III(2) 歴史・文化地理学演習 III(2) 地理学特殊講義 V(2)						
地 誌	1以上	◎地 誌 学(2)						
		地理学特殊講義 I(2)						

◎は教職必修科目



人文科学科

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する科目	単位		
公民 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 十六単位以上)	「法学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」	1以上	◎法学通論(4) ◎政治学通論(4) ----- 国際関係論(2) 国際開発論 I(2) 国際開発論 II(2) 国際開発論 III(2) 国際協力学(2) 国際機構論(2) 国際協力方法論 I(2) 平和構築論 I(2)	学部共通科目 〃
	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1以上	◎社会学通論(4) ◎経済学通論(4) ----- 経済地理学(2) 地域研究方法論(2) 都市地理学(2) グローバル化と経済(2) 文化理論研究(2) グローバル化と労働(2) 比較社会政策論(2) 地域開発論 I(2) 地域開発論 II(2) 地域開発論 III(2) 国際金融論(2) 文化人類学概論(2) 民族誌学特殊講義(2) 文化人類学特殊講義(2) 文化人類学演習(4) 民族誌学演習(4)	学部共通科目 〃  人間社会 科学科 科目
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1以上	◎哲学概論 I(2) ◎倫理学概論 II(2) 哲学通論 II(2) ◎倫理学概論 I(2) 哲学通論 I(2) 倫理学通論 II(2) ◎哲学概論 II(2) 倫理学通論 I(2) ----- 西洋哲学史 I(2) 哲学演習 B I(2) 文化と心理(2) 西洋哲学史 II(2) 哲学演習 B II(2) 倫理学研究(2) 西洋哲学史 III(2) 哲学演習 B III(2) 宗教と倫理学(2) 日本倫理思想史 I(2) 哲学演習 C I(2) 生命と倫理学(2) 日本倫理思想史 II(2) 哲学演習 C II(2) 日本の社会と文化(2) 西洋倫理思想史 I(2) 哲学演習 C III(2) 西洋倫理思想史 II(2) 哲学演習 D I(2) 哲学基礎演習(4) 哲学演習 D II(2) 概念分析論演習 I(2) 哲学演習 D III(2) 概念分析論演習 II(2) 倫理学演習 A(4) 概念分析論演習 III(2) 倫理学演習 B(4) 問題分析論演習 I(2) 倫理思想史演習 A(4) 問題分析論演習 II(2) 倫理思想史演習 B(4) 問題分析論演習 III(2) 倫理学特殊講義 A I(2) 理論分析論演習 I(2) 倫理学特殊講義 A II(2) 理論分析論演習 II(2) 倫理学特殊講義 B I(2) 理論分析論演習 III(2) 倫理学特殊講義 B II(2) 哲学 A I(2) 倫理思想史特殊講義 A I(2) 哲学 A II(2) 倫理思想史特殊講義 A II(2) 哲学 A III(2) 倫理思想史特殊講義 B I(2) 哲学 B I(2) 倫理思想史特殊講義 B II(2) 哲学 B II(2) 倫理学研究指導(2) 哲学 B III(2) 倫理学資料講義(4) 哲学 C I(2) 日本倫理思想史資料講義(4) 哲学 C II(2) 西洋倫理思想史資料講義(4) 哲学 C III(2) 日本倫理思想史研究(2) 哲学演習 A I(2) 西洋倫理思想史研究(2) 多文化間交流論(2) 文化と人間関係 I(2) 哲学演習 A II(2) 文化と人間関係 II(2) 哲学演習 A III(2) 社会心理学概論(2) 認知心理学概論(2)	人間社会 科学科 科目

◎は教職必修科目

言語文化学科 日本語・日本文学履修コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考
免許教科	教科に関する科目	単位		
国語 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1以上	◎日本語構造論概論 (2) ◎日本語音声表現論 (2) ◎日本語構造論特殊講義(文章語) I (2) ◎日本語構造論特殊講義(文章語) II (2) ----- 日本語文章表現論 (2) 日本語史特殊研究(古代語) (2) 日本語史特殊研究(近代語) (2) 日本語史基礎演習 (2) 日本語史特殊講義(古代語) I, II (各2) 日本語史特殊講義(近代語) I, II (各2)	
	国文学 (国文学史を含む。)	1以上	◎日本文学概説 (2) 日本古典文学史論(各2) [中古, 中世, 近世の中から2科目以上選択すること] 日本近代文学史論(各2) [近代, 現代の中から1科目以上選択すること] ----- 日本古典文学論特殊研究(上代, 中古, 中世, 近世) (各2) 日本古典文学論講義(上代, 中古, 中世, 近世) (各2) 日本古典文学論演習(上代 I, II) (各2) 日本古典文学論演習(中古 I, II) (各2) 日本古典文学論演習(中世 I, II) (各2) 日本古典文学論演習(近世 I, II) (各2) 日本上代文学論特殊講義( I, II) (各2) 日本中古文学論特殊講義( I, II) (各2) 日本中世文学論特殊講義( I, II) (各2) 日本近世文学論特殊講義( I, II) (各2) 日本近代文学論特殊研究(近代, 現代) (各2) 日本近代文学論講義(近代, 現代) (各2) 日本近代文学論演習(近代 I, II) (各2) 日本近代文学論演習(現代 I, II) (各2) 日本近代文学論特殊講義( I, II) (各2) 日本現代文学論特殊講義( I, II) (各2)	
	漢文学	1以上	◎中国古典文学史(先秦~唐) (2) ◎中国古典文学史(宋~清) (2) 日本古典文学史論(上代) (2) 中国古典文献講義入門 (2) 中国古典文献講義基礎 (2) ----- 中国文学講義演習 (2) 中国古典文学概論 (2) 中国文学古典演習 (2) 中国語学文献講義 (2)	(高)にあつては1科目以上選択すること
(中)書道 (書写を中心とする。)	1以上	◎書道 I (2) ◎書道 II (2)	◎は教職必修科目 *高校教諭免許では, 所要単位(20単位・16単位)に含まれない。	

◎は教職必修科目



免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 中国語

言語文化学科 中国語圏言語文化履修コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考		
免許教科	教科に関する科目	単位				
中国語 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	中国語学	1 以上	◎中国語学概論 (2)			
			◎中国語講読 (2)			
			◎日中対照言語学 (2)			
			中国語学講義演習 (2)			
中国古典語学講義演習 (2)						
中国語学講読演習 (2)						
中国古典語学講読演習 (2)						
中国語学演習 (2)						
中国現代語学演習 (2)						
中国語文法演習 (2)						
中国語統語論 (2)						
中国語文法論 (2)						
中国言語文化演習 (2)						
中国語上級演習 (2)						
中国語学基礎演習 (2)						
中国語学特殊講義 (2)						
中国文学	1 以上	◎中国現代文学史 (2)				
		◎中国文学古典講読 (2)				
		中国古典散文演習 (2)				
		中国古典小説演習 (2)				
		中国近代作家論 (2)				
		中国現代作家論 (2)				
		中国近代作品論 (2)				
		中国現代作品論 (2)				
		中国語圏比較文学論 (2)				
		中国文学特殊講義 (2)				
		中国古典詩講義演習 (2)				
		中国語 コミュニケーション		1 以上	◎中国語作文基礎演習 (2)	
					◎中国語作文応用演習 (2)	
◎中国語コミュニケーション・スキル (2)						
◎中国語ヒアリング基礎 (2)						
中国語ヒアリング演習 (2)						
異文化理解	1 以上	中国語会話演習 (2)				
		中国語文章表現基礎演習 (2)				
		中国語文章表現応用演習 (2)				
		◎中国事情 (2)				
異文化理解	1 以上	◎中国事情 (2)				
		中国文化論 (2)				

◎は教職必修科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 英語

言語文化学科 英語圏言語文化履修コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考		
免許教科	教科に関する科目	単位				
英語 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	英語学	1 以上	◎英文法 (4)			
			◎英語学入門 (2)			
			英文法演習 (2)			
			英語学概論 (2)			
英語音声学演習 (2)						
英語学特殊講義 I~VIII (各2)						
英語文法論 (2)						
特別演習(言語研究方法論) I・II (各2)						
特別演習(言語資料分析) I・II (各2)						
英米文学			1 以上		◎英文学史 I・II (各2)	いずれか1科目選択
					英米文学演習(入門) (2)	
					英米文学演習(初級) (2)	
					英米文学演習(中級) (2)	
	英米文学演習(上級) (2)					
	英米文学演習(作品作家研究) (2)					
	特別演習(英米文学研究方法論) I・II (各2)					
	特別演習(作品分析) I・II (各2)					
	英文学特殊講義 I~VIII (各2)					
	米文学史 I (2)					
米文学史 II (2)						
英語圏テキスト講読 I・II (各2)						
英語 コミュニケーション	1 以上	◎英作文演習(初級) (2)	いずれか1科目選択			
		◎英会話演習(初級) (2)				
		英会話演習(中級) (2)				
		英作文演習(中級) (2)				
		英会話演習(上級) (2)				
英作文演習(上級) (2)						
異文化理解	1 以上	◎英米事情 (2)				
		英語圏言語文化論 (2)				

◎は教職必修科目



免許状の種類 中学校教諭一種免許状 免許教科 社会

人間社会科学科

科目区分		単位	本学認定授業科目及び単位		備考	
免許教科	教科に関する科目					
社会 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 八単位以上)	日本史及び外国史	1以上	◎日本史概説 (2)	◎東洋史概説 (2)	人文科学 科科目	
			◎日本文化史概論 (2)	◎西洋史概説 (2)		
				考古学通論 I (2)		
				考古学通論 II (2)		
			歴史考古学 (2)			
			教育史演習 (4)	グローバル・ヒストリー(2)		
			教育史料分析演習 (4)			
	地理学 (地誌を含む。)	1以上	◎都市と自然 (2)	◎自然と人間 (2)	人文科学 科科目	
			◎地誌学 (2)			
			地図学 (2)	人間と空間 (2)		
			自然地理学 (2)			
			歴史・文化地理学 (2)			
			社会地理学 (2)			
	「法学, 政治学」	1以上	法学通論 (4)	いずれか1科目選択	学部共通科目 〃	
			法学概論 (2)			
			政治学通論 (4)	いずれか1科目選択		
			政治学概論 (2)			
			教育行財政学演習 (4)	国際開発論 I (2)		
			教育政策科学演習 (4)	国際開発論 II (2)		
			教育行財政学特殊講義 (2)	国際開発論 III (2)		
			現代生活論 (2)	国際協力学 (2)		
			国際関係論 (2)	国際機構論 (2)		
				国際協力方法論 I (2)		
				平和構築論 I (2)		
	「社会学, 経済学」	1以上	社会学通論 (4)	いずれか1科目選択	学部共通科目 〃	
			社会学概論 (2)			
			経済学通論 (4)	いずれか1科目選択		
			経済学概論 (2)			
			教育社会学特殊講義 (2)	社会調査法 (4)		
			教育社会学演習 (4)	グローバル化と経済 (2)		
			学校社会学演習 (4)	グローバル化と労働 I (2)		
			生涯学習概論 (2)	地域開発論 I (2)		
			現代社会論 (2)	地域開発論 II (2)		
			文化人類学概論 (2)	地域開発論 III (2)		
			文化人類学特殊講義 (2)	国際金融論 (2)		
			民族誌学特殊講義 (2)	地域研究方法論 (2)		
			文化人類学演習 (4)	文化理論研究 (2)		
			民族誌学演習 (4)	比較社会政策論 (2)		
			社会政策論 I (2)			
			経済地理学 (2)		人文科学 科科目	
			都市地理学 (2)			
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1以上	◎哲学通論 I (2)	◎哲学通論 II (2)	学部共通科目 〃	
			◎倫理学通論 I (2)	◎倫理学通論 II (2)		
			教育思想演習 (4)	多文化間交流論 (2)		
			教育人間学演習 (4)	文化と人間関係 I (2)		
				文化と人間関係 II (2)		
				文化と心理 (2)		
			西洋哲学史 I (2)		人文科学 科科目	
			西洋哲学史 II (2)			
			西洋哲学史 III (2)			
			日本倫理思想史 I (2)			
			日本倫理思想史 II (2)			
			西洋倫理思想史 I (2)			
			西洋倫理思想史 II (2)			

◎は教職必修科目

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 公民

人間社会科学科

科目区分		単位	本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する科目				
公民 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 十六単位以上)	「法学 (国際法を含む。), 政治学 (国際政治を含む。)」	1以上	◎法学通論 (4)		学部共通科目 〃
			◎政治学通論 (4)		
			教育行財政学演習 (4)	国際開発論 I (2)	
			教育政策科学演習 (4)	国際開発論 II (2)	
			教育行財政学特殊講義 (2)	国際開発論 III (2)	
			現代生活論 (2)	国際協力学 (2)	
			国際関係論 (2)	国際機構論 (2)	
				国際協力方法論 I (2)	
				平和構築論 I (2)	
	「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」	1以上	◎社会学通論 (4)		学部共通科目 〃
			◎経済学通論 (4)		
			教育社会学特殊講義 (2)	グローバル化と経済 (2)	
			教育社会学演習 (4)	グローバル化と労働 I (2)	
			学校社会学演習 (4)	地域開発論 I (2)	
			生涯学習概論 (2)	地域開発論 II (2)	
			現代社会論 (2)	地域開発論 III (2)	
			文化人類学概論 (2)	国際金融論 (2)	
			文化人類学特殊講義 (2)	地域研究方法論 (2)	
			文化人類学演習 (4)	文化理論研究 (2)	
			民族誌学演習 (4)	比較社会政策論 (2)	
			社会政策論 I (2)	社会調査法 (4)	
			経済地理学 (2)		人文科学 科科目
			都市地理学 (2)		
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1以上	◎哲学通論 I (2)	◎哲学通論 II (2)	学部共通科目 〃
			◎倫理学通論 I (2)	◎倫理学通論 II (2)	
			教育思想演習 (4)	多文化間交流論 (2)	
			教育人間学演習 (4)	文化と人間関係 I (2)	
				文化と人間関係 II (2)	
				文化と心理 (2)	
			西洋哲学史 I (2)		人文科学 科科目
			西洋哲学史 II (2)		
			西洋哲学史 III (2)		
			日本倫理思想史 I (2)		
			日本倫理思想史 II (2)		
			西洋倫理思想史 I (2)		
			西洋倫理思想史 II (2)		

◎は教職必修科目



免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 保健体育

芸術・表現行動学科 舞踊教育学履修コース

科目区分		単位	本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する科目				
保健体育 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学校・高校十六単位以上)	体育実技	1以上	◎器械体操 (1)		
			◎球技(指導法) (1)		
			◎球技(教材研究) (1)		
			◎水泳実習 (1)		
			◎舞踊教育法実習(中等教育) (1)		
◎モダンダンス・テクニク(初級) (1)					
◎舞踊創作法実習(即興創作) (1)					
◎舞踊創作法実習(舞踊構成法) (1)					
◎民族舞踊実習(初級) (1)					
			陸上競技 (1)	スキー実習 (1)	
			モダンダンス・テクニク(中級) I (1)	舞踊上演法実習(初級) (1)	
			モダンダンス・テクニク(中級) II (1)	舞踊上演法実習(中級) (1)	
			モダンダンス・テクニク(上級) (1)	舞踊上演法実習(上級) (1)	
			舞踊創作法実習(舞踊上演・制作) (2)	舞踊表現技法実習(初級) (1)	
			日本舞踊実習 (1)	舞踊表現技法実習(中級) (1)	
			バレエ実習 (1)	舞踊表現技法実習(上級) (1)	
			民族舞踊実習(中級) (1)	民族舞踊実習(上級) (1)	
	「体育原理, 体育心理学, 体育経営学, 体育社会学」及び運動学(運動方法学を含む。)	1以上	◎運動学(運動方法学を含む) (2)		
			◎体育原理 (2)		
			◎舞踊芸術学 (2)		
			◎民族舞踊学 (2)		
			◎臨床舞踊論 (2)		
			スポーツ人間学 (2)		
			体育心理学 (2)		
			スポーツ文化論演習 (2)		
			スポーツ人間学実験演習 (2)		
			舞踊・スポーツ情報演習 (2)		
	生理学(運動生理学を含む。)	1以上	◎生理学(運動生理学を含む) (2)		
			◎動作学 (2)		
			解剖学 (2)		
			病理学 (2)		
			動作学実験演習 (2)		
	衛生学及び公衆衛生学	1以上	◎衛生学及び公衆衛生学 (2)		
	学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全と救急処置を含む。)	1以上	◎学校保健 (2)		小児保健, 精神保健を含む。
				◎学校安全と救急看護 (2)	

◎は教職必修科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 音楽

芸術・表現行動学科 音楽表現履修コース

科目区分		単位	本学認定授業科目及び単位				備考
免許教科	教科に関する科目						
音楽 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学校・高校十六単位以上)	ソルフェージュ	1以上	◎ソルフェージュ (2)				
	声乐 (合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	1以上	◎声乐I演習 (4)				
			◎合唱演習I (2)				
			合唱演習II (2)				
				声乐II (4)	声乐III (4)	声乐IV (4)	
			声乐特別演習 (4)				
			オペラ研究A I (2)		オペラ研究B I (2)		
			オペラ研究C I (2)		オペラ研究D I (2)		
器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	1以上	◎合奏演習 (2)					
		◎ピアノI演習(伴奏を含む) (4)					
		◎日本音楽演奏法I (2)					
		ピアノII (4)	ピアノIII (4)	ピアノIV (4)			
		ピアノ特別演習A I (2)	ピアノ特別演習A II (2)	ピアノ特別演習B I (2)	ピアノ特別演習B II (2)		
			ピアノ特別演習C I (2)	ピアノ特別演習C II (2)			
			ピアノ研究演習A I (2)	ピアノ研究演習A II (2)			
指揮法	1以上	◎指揮法 (2)					
音楽理論, 作曲法 (編曲法を含む。) 及び音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	1以上	◎作曲原論I (2)		◎作曲原論II (2)		「作曲原論I」「作曲原論II」は、音楽理論, 作曲法(編曲法を含む)を含む。	
		◎西洋音楽史I (2)		◎西洋音楽史II (2)			
		◎日本音楽史概論 (2)		◎音楽形式論 (2)			
		◎音楽学研究法 (2)					
		◎音楽学基礎演習I (2)					
			◎音楽学基礎演習II (2)				
			◎民族音楽学 (2)				
			西洋音楽史特殊講義I (2)				
			音楽分析法 (2)	音楽学研究演習 (4)			
			アジア音楽論I (2)	アジア音楽論II (2)			

◎は教職必修科目



◎ 理 学 部

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 数学

科目区分			本学認定授業科目及び単位			
免許教科	教科に関する科目	単位				
数 学 (必修科目○単位数八・上高・校教科十科六又単は位教以職上に関)	代数学	1以上	◎初等代数学 2 (選) ◎代数学 I 2 (必) ◎代数学 II 2 (必)	◎代数学演習 2 (必)		
	幾何学	1以上	◎線形代数学 I 2 (必) ◎線形代数学 II 2 (必) ◎線形代数学 III 2 (必) ◎ベクトル解析 2 (必)	◎線形代数学演習 I 2 (必) ◎線形代数学演習 II 2 (必) ◎位相空間論 2 (必) ◎位相空間論演習 2 (必)		
	解析学	1以上	◎微分積分学 I 2 (必) ◎微分積分学 II 2 (必) ◎微分積分学 III 2 (必) ◎関数論 2 (必) ◎関数論演習 2 (必)	◎微分積分学演習 I 2 (必) ◎微分積分学演習 II 2 (必) ◎微分積分学演習 III 2 (必)		
	「確率論, 統計学」	1以上	確率論 2 数理統計学 2 * 確率序論 2	いずれか1科目以上選択		
	コンピュータ	1以上	* コンピュータシステム序論 2 計算基礎論 2	いずれか1科目以上選択		

◎は教職必修科目

\*は全学共通科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 理科

物 理 学 科

科目区分			本学認定授業科目及び単位			
免許教科	教科に関する科目	単位				
理 科 (必修二○単位以上・教科又は教職に関する科目中 学八・高校十六単位以上)	物理学	1	◎古典力学 2 (必) ◎解析力学 2 (必) ◎電磁気学 I 2 (必) ◎電磁気学 II 2 (必) ◎物理数学 I 2 (必) ◎物理数学 II 2 (必)	◎量子力学 I 2 (必) ◎量子力学 II 2 (必) ◎熱力学 2 (必) ◎物理実験学 2 (選) ◎基礎エレクトロニクス 2 (選)		
		以	力学系理論 2 (必) 数理物理学 2 (必) 量子力学 III 2 (必) 統計力学 2 (必) 物性物理学序論 2 (選) 相対論 2 (選) 宇宙物理学 2 (選) 連続体物理学 2 (選) 固体電子論 2 (選) 相転移物理学 2 (選) 凝縮系物理学 2 (選) 原子核物理学 2 (選)	量子力学演習 2 (必) 統計力学演習 2 (必) 素粒子物理学 2 (必) 力学演習 2 (必) 電磁気学演習 2 (必) 物理数学演習 2 (必) 流体物理学 2 (選) 計算物理学講義・演習 4 (選) 量子光学 2 (選) 物理学特別講義 I~XX 各2 (選)		
		上	◎基礎物理学実験 2 (必) ◎物理学実験 4 (必)			
		1以上	◎基礎化学 A 2 (全学共通科目) (選) ◎基礎化学 B 2 (全学共通科目) (選)			
	化学	1以上	◎基礎化学 A 2 (全学共通科目) (選) ◎基礎化学 B 2 (全学共通科目) (選)			
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎化学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)			
	生物学	1以上	◎基礎生物学 A 2 (選) ◎基礎生物学 B 2 (選)			
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎生物学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)			
	地学	1	宇宙・地球科学 2 (全学共通科目) (選) 地球環境科学 2 (全学共通科目) (選) 大気・海洋科学概論 2 (全学共通科目) (選) 地史・古生物学概論 2 (全学共通科目) (選)	いずれか1科目以上選択		
		以				
		上				
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎地学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)			

◎は教職必修科目

・実験の履修方法

○中 学 校 物理学, 化学, 生物学, 地学の全ての実験を履修すること。

○高等学校 物理学, 化学, 生物学, 地学のうちどれか1つを履修すること。

(必) = 物理学科必修科目 (選) = 物理学科選択科目



免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 理科

化 学 科

免許教科	科目区分		本学認定授業科目及び単位			
	教科に関する科目	単位				
理科 (必修二〇単位以上・教科又は教職に関する科目中学校八・高校十六単位以上)	物理学	1以上	◎物理学概論A 2 (全学共通科目) (選) ◎物理学概論B 2 (全学共通科目) (選)			
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎物理学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)			
	化学	1以上	◎物理化学I 2 (必) ◎有機化学I 2 (必)	◎物理化学II 2 (必) ◎有機化学II 2 (必)		
			◎物理化学III 2 (必) ◎有機化学III 2 (必)	◎物理化学IV 2 (必) ◎生物化学I 2 (必)		
			◎無機化学I 2 (必) ◎生物化学II 2 (必)	◎無機化学II 2 (必) ◎生物化学III 2 (必)		
			◎無機化学III 2 (必) ◎分析化学I 2 (必)	◎分子分光法 2 (必) ◎分析化学II 2 (必)		
			化学演習I 2 (必)			
			化学演習II 2 (必)			
◎基本化学実験I 2 (必) ◎基本化学実験II 2 (必)			◎基本化学実験III 2 (必) ◎基本化学実験IV 2 (必)			
◎専門化学実験I 6 (必) ◎専門化学実験II 4 (必)						
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上					
生物学	1以上	◎基礎生物学A 2 (選) ◎基礎生物学B 2 (選)				
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎生物学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)				
地学	1以上	宇宙・地球科学 2 (全学共通科目) (選)	} いずれか1科目以上選択			
		地球環境科学 2 (全学共通科目) (選)				
		大気・海洋科学概論 2 (全学共通科目) (選)				
		地史・古生物学概論 2 (全学共通科目) (選)				
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎地学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)				

◎は教職必修科目

・実験の履修方法

- 中学校 物理学, 化学, 生物学, 地学の全ての実験を履修すること。
- 高等学校 物理学, 化学, 生物学, 地学のうちどれか1つを履修すること。
- (必) = 化学科必修科目 (選) = 化学科選択科目

免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 理科

生 物 学 科

免許教科	科目区分		本学認定授業科目及び単位			
	教科に関する科目	単位				
理科 (必修二〇単位以上・教科又は教職に関する科目中学校八・高校十六単位以上)	物理学	1以上	◎物理学概論A 2 (全学共通科目) (選) ◎物理学概論B 2 (全学共通科目) (選)			
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎物理学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)			
	化学	1以上	◎基礎化学A 2 (全学共通科目) (選) ◎基礎化学B 2 (全学共通科目) (選)			
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎化学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)			
	生物学	1以上	◎生化学 2 (必) ◎植物生理学I 2 (必)	◎生物物理学 2 (必) ◎植物生理学II 2 (必)		
			◎動物系統学 2 (必) ◎基礎遺伝学 2 (必)	◎植物形態学 2 (必) ◎分子細胞生物学 2 (必)		
			◎発生生物学 2 (必) ◎細胞生物学 2 (必)	◎進化生物学 2 (必) ◎動物生理学 2 (必)		
			◎代謝生物学I 2 (必)	◎代謝生物学II 2 (必)		
			◎分子遺伝学 2 (必)	◎分子細胞情報学 2 (必)		
			細胞生化学 2 (選) バイオメカニクス 2 (選)	進化遺伝学 2 (選) バイオ政治学II 2 (選)		
発生遺伝学 2 (選) 植物生理学 2 (選)			生物学演習I 2 (選) 生物学演習II 2 (選)			
分子構造生物学 2 (選) 内分泌学 2 (選)						
◎生物学実習I 2 (必) ◎生物学実習II 2 (必)						
植物形態学実習 1 (選) 細胞生化学実習 1 (選)			基礎遺伝学実習 1 (選) 発生生物学実習 1 (選)			
分子遺伝学実習 1 (選) 動物生理学臨海実習 1 (選)	細胞生物学実習 1 (選) 動物系統学臨海実習 2 (選)					
植物生理学実習 1 (選) 発生生物学臨海実習 1 (選)	代謝生物学実習 1 (選) 植物学野外実習 1 (選)					
動物生理学実習 1 (選)						
地学	1以上	宇宙・地球科学 2 (全学共通科目) (選)	} いずれか1科目以上選択			
		地球環境科学 2 (全学共通科目) (選)				
		大気・海洋科学概論 2 (全学共通科目) (選)				
		地史・古生物学概論 2 (全学共通科目) (選)				
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1以上	◎地学基礎実験 2 (全学共通科目) (選)				

◎は教職必修科目

・実験の履修方法

- 中学校 物理学, 化学, 生物学, 地学の全ての実験を履修すること。
- 高等学校 物理学, 化学, 生物学, 地学のうちどれか1つを履修すること。
- (必) = 生物学科必修科目 (選) = 生物学科選択科目



免許状の種類 中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 数学

情報科学科 数学コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考		
免許教科	教科に関する科目	単位				
数学 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 中学八・高校十六単位以上)	代数学	1	◎数 理 基 礎 論 2 ◎離 散 数 学 2			
		以 上	初 等 代 数 学 2 位 相 空 間 論 2 グ ラ フ 問 題 論 2 暗 号 と 符 号 論 2 組 み 合 わ せ 論 2			
			1 以 上	◎線 形 代 数 学 I 2 ◎線 形 代 数 学 II 2 ◎線 形 代 数 学 演 習 I 2 ◎線 形 代 数 学 演 習 II 2 線 形 代 数 学 III 2		
				1 以 上	◎微 分 積 分 学 I 2 ◎微 分 積 分 学 II 2 ◎微 分 積 分 学 III 2 ◎微 分 積 分 学 演 習 I 2 ◎微 分 積 分 学 演 習 II 2 関 数 論 2 微 分 積 分 学 演 習 III 2 情 報 解 析 学 2 微 分 方 程 式 論 2	
					1 以 上	◎確 率 序 論 2 数 理 統 計 学 2
	1 以 上	◎計 算 基 礎 論 2 コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム 序 論 2 計 算 機 代 数 演 習 2				

◎は教職必修科目

免許状の種類 高等学校教諭一種免許状 免許教科 情報

情報科学科 情報コース

科目区分			本学認定授業科目及び単位	備考		
免許教科	教科に関する科目	単位				
情報 (必修二〇単位以上・ 教科又は教職に関する科目 十六単位以上)	情報社会及び情報倫理	1以上	◎情 報 倫 理 2			
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む)	1 以 上	◎データ構造とアルゴリズム 2 ◎マルチメディアプログラミング実習 2 ◎環境情報論 2 コンピュータアーキテクチャI 2 コンピュータアーキテクチャII 2 コンパイル構成論 2 プログラミング実習 2 言語理論とオートマトン 2 人工知能論 2 数値計算実習 2 関数型言語 2 コンピュータ基礎演習 2			
			情報システム(実習を含む)	1以上	◎データベース設計論 2 ◎データベースシステム 2 ソフトウェア工学I 2	
			情報通信ネットワーク (実習を含む)	1以上	◎コンピュータネットワークI 2 ◎システムプログラミング実習 2 情 報 理 論 2	
			マルチメディア表現及び 技術(実習を含む)	1 以 上	◎マルチメディア 2 ◎コンピュータグラフィックス 2 コンピュータビジョン 2 シミュレーション科学 2	
					情報と職業	1以上

◎は教職必修科目



◎ 生活科学部

免許状の種類	中学校・高等学校教諭一種免許状 免許教科 家庭
--------	-------------------------

人間生活学科 家庭コース

科目区分		本学認定授業科目及び単位		備考
免許教科	教科に関する科目	単位		
家庭 (必修二〇単位以上・教科又は教職に関する科目中学校八・高校十六単位以上)	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)	1	◎家族関係論 2 ◎家政経済学概論 2	
		以	生活設計論 2 消費者教育論 2	
			消費者経済学 2 家族生活史 2	
			家族社会学総論 2 労働経済学総論 2	
			家族法 I 2 生活法学総論 2	
	上	家庭経営学 2 老年学 2		
	被服学(被服製作実習を含む。)	1	◎被服学概論 2 服飾制作実習 2 被服製作実習 1 } いずれか1科目以上選択	
		以	日本古代・中世服飾史 2 服飾文化各論 2	
			日本近世・近代服飾史 2 服飾文化論演習 2	
			西洋服飾史論 2 服飾文化実習 1	
西洋服飾史資料論 2 西洋服飾論 2				
上	服飾美学概論 2 日本服飾論 2			
服飾美学各論 2 日本服飾史演習 I 2				
服飾美学演習 4 日本服飾史演習 II 2				
服飾文化概論 2 西洋服飾史演習 4				
食物学(栄養学、食品学及び調理実習を含む。)	1	◎食物学概論 2 調理実習 1 基礎調理学実習 1 } いずれか1科目以上選択	食物栄養学科	
	以	国際栄養学 2 食糧経済学 2		
		食生活史 2		
		公衆栄養学 2 食品衛生学 2		
		調理科学 2 食品化学 2		
上	食品製造・保存学 2 食品機能論 2			
(中)住居学 (高)住居学 (製図を含む。)	1	◎住居学概論 2 ◎生活設備学 2	人間・環境科学科	
	以	建築環境工学 2 機器分析演習 2		
		環境衛生学 2 環境材料物性 2		
(中)保育学 (実習を含む。) (高)保育学(実習及び家庭看護学を含む。)	1	◎児童学概論 2 ◎家庭看護学 2		
	以	◎保育実践論 2		
		人間関係学 2 保育臨床研究演習 2		
		保育臨床講義講読 2 保育臨床実習 2		
(高)家庭電気・機械及び情報処理	1	◎家庭機械及び家庭電気 2	食物栄養学科及び人間・環境科学科	
	以	応用生活統計学 2 (情報処理)		
		社会統計学 I 2 (情報処理)		
		社会統計学 II 2 (情報処理)		
		情報解析概論 2 (情報処理)		
		応用統計学 2 (情報処理)		
上				

◎は教職必修科目

5. 教職に関する科目(幼稚園・小学校)

教職に関する科目	免許状の種類及び認定科目・単位					
	左記各科目に含めることが必要な事項	幼稚園教諭		小学校教諭		
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2 単位	教職概論 2	2 単位	教職概論 2	
	教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)					
	進路選択に資する各種の機会の提供等					
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6 単位	教育原論(思想・歴史)	2	教育原論(思想・歴史)	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		教育心理		教育心理	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育原論(制度・社会)		教育原論(制度・社会)	
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	20 単位			教育課程論 2	
	各教科の指導法				*小学校教材研究 18	
	道徳の指導法				道徳教育の研究 2	
	特別活動の指導法				特別活動の研究 2	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)				教育方法論 2	
	教育課程の意義及び編成の方法				保育課程論 2	
	保育内容の指導法				保育内容の研究 I(言葉)	2
					保育内容の研究 II(人間関係)	2
					保育内容の研究 III(環境)	2
					保育表現 I(指導法)	2
保育表現 II(指導法)		2				
保育内容・健康		2				
保育指導法 I	2					
保育指導法 II	2					
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	2				
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	2 単位			生徒指導の研究 2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				4 単位	学校カウンセリング 2
	進路指導の理論及び方法					
	幼児理解の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				幼児理解と教育相談 2	
教育実習	5 単位	事前・事後指導 1 教育実習 4	5 単位	事前・事後指導 1 教育実習 4		
教職実践演習	2 単位	教職実践演習(教諭)	2 単位	教職実践演習(教諭)	2	
合計		37単位		45単位		



注) 1. 当該単位は、教職概論、事前・事後指導及び教育実習、教職実践演習を除き、文教育学部と理学部は6単位まで、生活科学部は14単位まで、卒業所要単位(124単位—ただし食物栄養学科は138単位)に含めることができる。

2. 幼稚園教諭では、37単位を修得する他、教科又は教職に関する科目を10単位修得すること。
3. 小学校教諭では、45単位を修得する他、教科又は教職に関する科目を10単位修得すること。
4. 小学校教材研究(\*)は、9教科(国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・体育)18単位をすべて修得すること。
5. 教職実践演習は、卒業前に、取得予定の免許種の教員としての資質・能力を最終確認する目的で設置された授業である。よって、4年次後期に校種・免許種によってクラスが指定され、演習・実習形式で行われる。教職実践演習を履修し単位が与えられないと教員免許状の取得は出来ないため、掲示等の案内・指示に従い、履修には十分注意すること。

◎「保育内容の指導法」の単位のうち半数までは、下記のとおり小学校教諭の1種免許状の授与を受ける場合の教科の指導法の単位を充てることができる。但し、小学校教諭1種免許状の取得要件を満たしている場合に限る。

小学校教材研究(音楽)	……	保育表現Ⅱ(指導法)
〃(図工)	……	保育表現Ⅰ(指導法)
〃(体育)	……	保育内容・健康

## 6. 教科に関する科目(幼稚園・小学校)

教科に関する科目		免許状の種類及び認定科目・単位					
		幼稚園教諭		小学校教諭			
〔幼稚園〕 必修6単位 教科又は教職に関する科目10単位以上	国語(書写を含む)	必 修 6 単 位	国語科教育論	2	必 修 8 単 位	国語科教育論	2
	社会					社会科教育論	2
	算数		算数科教育論	2		算数科教育論	2
	理科					理科教育論	2
	生活		生活科教育論	2		生活科教育論	2
	家庭					家庭科教育論	2
〔小学校〕 必修8単位 教科又は教職に関する科目10単位以上	音楽	単 位	◎教職ピアノ	1	単 位	◎教職ピアノ	1
			◎教職声楽	1		◎教職声楽	1
			教職合唱	1		教職合唱	1
			教職指揮法	1		教職指揮法	1
	図画工作		図工科教育論	2		図工科教育論	2
	体育		幼・小体育実技	2		幼・小体育実技	2

◎印はその科目の中の必修科目。

注) 社会・理科・家庭は、小学校教諭のみの認定単位となる。

## 7. 教科又は教職に関する科目

本学で開講している「教科又は教職に関する科目」は、以下のとおりです。

### 【教科又は教職に関する科目】

「視聴覚教育メディア論」(2単位)

「日本語非母語話者年少者教育学特論」(2単位)

### 【教職に関する科目】

「道德教育の研究」(ただし、高等学校のみ)

### 【教科に関する科目】

各免許種類・教科とも、必修単位数を超えて修得した分

上記科目を組み合わせて中学校は8単位以上、高等学校は16単位以上、幼稚園・小学校は10単位以上を修得してください。



### III. 介護等体験

平成10年4月より、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」が施行されました。これは、「教員が個人の尊厳および社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性と教員の資質向上および学校教育の一層の充実を図る」観点から設けられた、とされています。

これにより、小学校および中学校の教員免許状取得には、関係法令等で指定された特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、計7日間の介護等体験が義務付けられました。(幼稚園、高等学校、または栄養教諭の教員免許状のみ取得希望者は、対象外とされています。)

文部科学省によると、介護等体験の内容は、「障害者、高齢者等に対する介護、介助のほか障害者等の話相手、散歩の付添いなどの交流等の体験、あるいは掃除や洗濯といった、障害者等と直接接するわけではないが、受入施設の職員に必要とされる業務の補助など、介護等体験を行う者の知識・技能の程度、受入施設の種類、業務の内容、業務の状況等に応じ、幅広い体験が想定される」となっています。

本学では、3年次に介護等体験を行います。学業への影響・派遣学生の経済的負担を考慮して、当面は都内の特殊教育学校および東京都内・関東近県の社会福祉施設へ派遣することとしています。

また、社会福祉施設での介護等体験には、申込み時に¥7,500～¥10,000の費用がかかります。これ以外にも、体験中の昼食費・交通費・施設入場料等も学生個人の負担となります。

### IV. 教員免許状の授与

教員免許状は、取得要件を満たした学生が、居住する都道府県の教育委員会に申請することで授与されます。

しかし、本学の所在する東京都では、免許状を申請する学生数が特段に多いので、所属する大学で申請希望者をまとめて教育委員会に申請する、大学一括申請を行っております。

教職課程履修学生は、4年次4月に卒業単位確認とともに、免許状の必要単位確認も行います。4年次の履修登録科目を決定するにあたり、単位の取得漏れが無いように良く確認しておいてください。

#### 1. 大学一括申請

4年次7月ごろに一括申請の申込み手続きを行います。この時に、免許状に表記する氏名の漢字、本籍地を確認するため、また法規上の欠格条項に該当しないことを確認するために、本籍地が所在する役所の住民課等で発行する身分証明書(学生証・運転免許証等とは違うものです。)が必要です。時期になりましたら、準備しておいてください。

次に12月ごろになると、一括申請の申請手続きを行います。この時は、宣誓書に署名・捺印するので、印鑑が必要となります。(シャチハタ等の簡易印は使用できません。)また、申請手数料も徴収します。(免許状申請件数に応じて¥3,300～¥9,900程度。今後変更の可能性あり。)

以上2回の手続きを漏れなく行くと、卒業式当日に教員免許状をお渡しできます。

なお、手続き方法や申請手数料等は、東京都教育委員会の方針変更で改定になる可能性があります。学内掲示で連絡しますので、ご注意ください。

#### 2. 個人申請

4年次に一括申請の手続きを行わなかった方は、卒業後に個人で教育委員会に申請することになります。卒業時に必要な単位を漏れなく修得していれば、卒業後いつでも申請できます。しかし、申請から授与までは1ヶ月以上かかることが多く、特に2月～3月は、申請が集中する時期ですので、4月からの採用に支障が生じることもあります。ですから、教職課程履修学生は、なるべく在学中に一括申請で免許状を取得するようにしてください。

なお、個人申請の場合には、居住する都道府県の教育委員会に申請することになりますが、都道府県ごとに手続きの仕方が異なりますので、担当部局に問い合わせ確認してください。

また、教員免許状は一度授与されると二度と再発行されません。一括申請でも個人申請でも同じです。あやまって紛失することの無いように厳重に保管してください。特に転居時に紛失する例が多いようです。



## V. 人間社会科学科所属学生の特例

文教育学部人間社会科学科では、学科の専門科目が教職に関する内容を扱っていますので、別表のとおり特別な取り扱いを行っております。I欄の教職に関する科目ではなく、これに対応するII欄の学科専門科目を履修してください。なお、備考欄の※を付した科目には注意すること。

また、この取り扱いにより、学科の専門性を損なう恐れが少ないので、人間社会科学科所属学生は、他学科の免許状（国語・英語等）を取得することを認めています。

教職に関する科目	I 本学の認定科目		II 人間社会科学科の科目		備考	
	左記各科目に含めることが必要な事項					
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割					
	教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）					
	進路選択に資する各種の機会の提供等					
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び理想	教育原論（思想・歴史）	2	{ 教育思想概論 2 教育史概論 2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	教育心理	2	{ ※教育心理学概論 2 ※発達心理学概論 2 ※発達臨床心理学概論 2 ※教授心理学 2	人間社会科学科開講科目※ 人間生活学科開講科目※	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育原論（制度・社会）	2	{ ※教育行財政学概論 2 ※教育社会学概論 2		
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	2	教育課程概論	2	
	各教科の指導法					
	道徳の指導法					
	特別活動の指導法					
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論	2	教育方法学概論	2	
	教育課程の意義及び編成の方法	保育課程論	2	保育学	2	※人間生活学科開講科目
	保育内容の指導法					
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論	2	教育方法学概論	2	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導の研究	2	学校臨床学概論	2	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	学校カウンセリング	2	{ ※青少年指導・文化論特殊講義 2 ※臨床心理学概論 2	{ ※人間社会科学科開講科目 ※人間生活学科開講科目	
	進路指導の理論及び方法			{ ※学校臨床学 2		
	幼児理解の理論及び方法	幼児理解と教育相談	2	保育臨床学	2	※人間生活学科開講科目
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
教育実習						
教職実践演習						

※は選択科目

## VI. 教職課程履修スケジュール

下の表は、4年間のおおまかなスケジュールです。この表は予定ですので、法規改正や学内の都合等で変更になる可能性があります。

なお、教職課程に関する連絡は、全て掲示で行います。学生センターの前にある屋外掲示板には教職課程の連絡コーナーがあります。教職課程に関する連絡は、全てここに掲示します。必ず一日一度は掲示を確認し、手続き等に漏れが無いようにご注意ください。

学年	時期	事項
1年次	4月	● 新入生オリエンテーション ● (教職に関する科目を履修)
	6月	● 教育実習申込書提出（教職課程の履修届）
2年次	10月	● 教職課程説明会 ▲ 介護等体験説明会
	2月	▲ 介護等体験申込手続 ▲ 介護等体験事前指導
3年次	4月	■ 第1回 教育実習大学側事前指導（教育実習配属先決定） ▲■ 健康診断受診
	5月	■ 第2回 教育実習大学側事前指導（中・高）（幼・小）
	5月～	▲ 介護等体験実施（特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間）
	9月	■ 出身学校教育実習内諾締切
	11月	■ 附属学校教育実習履修届提出
	1月	■ 附属幼稚園教育実習事前指導
	2月	■ 出身学校教育実習派遣手続説明会 ■ 附属小学校教育実習事前指導 ▲ 介護等体験事後指導
4年次	4月	■ 第3回 教育実習大学側事前指導（中・高） ■ 健康診断受診
	5月	■ 第3回 教育実習大学側事前指導（幼・小）
	5月～	■ (中・高) 教育実習事前指導
	6月	■ 附属小学校教育実習（4週間）および事後指導、栄養教育実習（1週間） ■ 附属幼稚園I期教育実習（2週間）および事後指導
	7月	■ 附属中・高I期教育実習（2または3週間）および事後指導 ★ 教員免許状一括申請申込
5年次	9月	■ 附属中・高II期教育実習（3週間）および事後指導
	10月	■ 附属幼稚園II期教育実習（2週間）および事後指導
	10月～11月	■ 教育実習報告指導会（全体事後指導）
	11月以降	■ 教職実践演習履修
6年次	12月	★ 教員免許状一括申請手続
	3月	★ 卒業式当日に教員免許状配布

《凡例》 ●：教職課程全般に関すること  
▲：介護等体験に関すること  
■：教育実習に関すること  
★：教員免許状一括申請に関すること



## VII. 栄養教諭一種免許状

生活科学部食物栄養学科に所属する学生は、栄養教諭一種免許状を取得することができます。

なお、教職に関する科目（栄養教育実習を除く）については、他の免許状を取得するための教職に関する科目（本冊子5頁参照）と共通のものです。

基礎資格および最低修得単位数

教育職員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数	
		栄養に係る教育に関する科目	教職に関する科目
栄養教諭一種	学士の学位を有すること、かつ管理栄養士の免許を受けていること又は指定された管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること。	4単位	18単位

教職に関する科目

科目	各科目に含める必要事項	認定科目・単位	
教職の意義等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職の意義及び教員の役割</li> <li>・教員の職務内容（研修、サービス及び身分保障等を含む。）</li> <li>・進路選択に資する各種機会の提供等</li> </ul>	2単位	○教職概論 2
教育の基礎理論に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</li> <li>・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）</li> <li>・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項</li> </ul>	6単位 (免許法では4単位)	○教育原論（思想・歴史） 2
			○教育心理 2
			○教育原論（制度・社会） 2
教育課程に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の意義及び編成の方法</li> <li>・道徳及び特別活動に関する内容</li> <li>・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）</li> </ul>	8単位 (免許法では4単位)	○教育課程論 2
			○道徳教育の研究 2
			○特別活動の研究 2
生徒指導及び教育相談に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の理論及び方法</li> <li>・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法</li> </ul>	4単位	○生徒指導の研究 2
			○学校カウンセリング 2
栄養教育実習		2単位	○栄養教育実習 2
教職実践演習		2単位	○教職実践演習（栄養教諭） 2

◎ 栄養教諭は、教育職員免許法では「教育の基礎理論に関する科目」及び「教育課程に関する科目」の必要単位数がそれぞれ4単位ずつとなっているが、「各科目に含めることが必要な事項」を全て網羅する必要があるため、本学では前者を6単位、後者を8単位修得する必要がある。

栄養に係る教育に関する科目

各科目に含める必要事項	認定科目・単位	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項</li> <li>・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項</li> <li>・食生活に関する歴史的及び文化的事項</li> <li>・食に関する指導の方法に関する事項</li> </ul>	2単位	○学校栄養教育論Ⅰ 2
	2単位	○学校栄養教育論Ⅱ 2

教科・教職以外の科目

本冊子4頁に同じ



